

## ◇ 復旧までの時系列

3月11日	東日本大震災発生（当日、44.6万kW運転中）
3月12日～	設備被害状況調査、土砂・瓦礫撤去開始
6月～	主機分解点検開始
7月～	主要機器（ガスタービン他）工場発送開始
10月～	主要機器搬入・据付、給・排水装置等試運転開始
12月 4日	燃料ガス受入
12月15日	ガスタービン起動
12月16日	ガスタービン着火
12月20日	8：59並列（試運転開始）

## ◇ 早期復旧に向けた工夫など

- ・ メーカーや関係会社を含め構内で働く従業員が一体となった早期復旧体制を構築、一日も早い復旧という使命感を持ち、昼夜二交替作業や据付方法の効率化、仮設設備の活用などによる工程前倒しなどに取り組み、早期復旧を図った。

## ＜具体的な取組事項＞

- ・ 昼夜二交替作業：ガスタービン・蒸気タービンなどの主要機器の工場や現地での点検・組立作業
- ・ 据付方法の効率化：屋外電気機器の現地据付時に、干渉する送電線を一時取り外し、大型重機を活用して搬入することによる工程の短縮 など
- ・ 仮設設備の活用：仮設電源および仮設空気圧縮機等を活用することによる早期の作業着手
  
- ・ 震災直後、津波により構内に流入した瓦礫や泥を処理・洗浄するための作業員・重機や水の確保が困難であったが、地元の業者などの協力を得ながら、社員や構内作業員が総出で作業にあたった。また、通信用電源確保のため使用していた非常用発電機の燃料も入手困難であったため、運転時間の短縮などに努めた。
  
- ・ 設備復旧工事においては、関係する製造メーカーが多岐に亘るとともに、復旧対象が広範囲であるなか、復旧時期の前倒しに向けた工程調整や部品の早期手配などを進めた。

◇ 仙台 4 号機外観



◇ 被災前後の設備



(タービン建屋1階 空気圧縮機 左：震災後 右：現状)



(タービン建屋1階 入口 左：震災後 右：現状)